

君の夢プロジェクト

— 心に響く道徳講話 編 —

スポーツや文化活動に打ち込む
子どもたちの
夢をかなえるプロジェクト



株式会社レバンガ北海道

折茂 武彦 代表取締役社長

埼玉県出身の元プロバスケットボール選手。日本代表として長年活躍し、引退後はBリーグ「レバンガ北海道」の社長として北海道のバスケットボール振興に尽力している。



1月21日、比布中央学校で「心に響く道徳講話」が行われました。
この講話は『君の夢プロジェクト』の一環として、スポーツや文化活動で活躍する「プロ」から学び、子どもたちが「本物」に触れる機会をつくる取り組みです。
今回は、プロバスケットボールチーム「レバンガ北海道」社長の折茂武彦さんを講師に迎えました。
講話では「夢を叶えるために」をテーマに、自身の経験をもとに「自分を信じ、情熱と覚悟を持って挑戦し



1 2 講話の様子 3 フリースロー対決で見事なシュートを決める折茂さん 4 気さくに生徒へ声をかける場面も

てほしい」「挫折や失敗も成長につながる」「応援され、必要とされ、感謝される人になってほしい」と、力強いメッセージが送られ、後期課程の生徒たちは真剣な表情で耳を傾けていました。
講話後には、バスケットボール部8年生の中野雄太さん、バスケット経験者の杉本仁校長を交えたフリースロー対決を実施。生徒たちや先生方の応援で会場は大いに盛り上がりました。
さらには、記念として折茂さんのサイン入りグッズも贈られました。

母村・湖南省（旧甲西町）と続く友好交流

比布中央学校と下田小学校6年生がリモートでつながる



2月17日、比布中央学校6年生が、滋賀県湖南市の下田小学校6年生とリモートで交流しました。本町は、開拓期に下田地区から入植者を迎えた縁をきっかけに、友好提携を結び、交流を続けています。
これまではプレゼン資料を交換する「学校紹介」で交流してきましたが、オンライン形式は今回が初めて。ご当地クイズやジェスチャーゲームで盛り上がりました。
質問タイムでは、「比布町の推しポイントは？」に「世界一大雪山がきれいに見える！」と答え、タブレットで景色を紹介。「下田小にしかない行事は？」には「お田植え祭り」と教えてくれました。
子どもたちは少し照れながらも、温かな雰囲気の中で交流を深めました。